

広報

のあさひ

No. 334
'84
9/15



もっずんが
びんご!

(撮影/滝川清一広報委員)

*観光クリ園オープン

暑かった夏も終り虫の泣き声に秋を感じるころ、ここ大沼の観光クリ園では去る9月7日オープンしました。

今年は例年よりやや早めに開園しましたが作柄の方は平年作。

この日は大沼大暮山地区幼児学級の子供たちが参加園主の小林さんの話を聞いた後、ようやく色づいたクリ拾いを楽しみました。

● 今月の内容 ●

- 心の豊かさを求めて 2
- 町政すぼと 6
- カメラあぐん
跳んだ走った燃えた 10
- みんなの教育
異常気象と人間の生活 12
- ふれあい広場 14

心の豊かさを求めて

わたしたちの暮らしと生涯学習

社会の変化は非常に早くなっており、昔の10倍のスピードといわれています。今日の人生80年は、昔の80年に相当することになります。昔、得た知識の利子で生活できる時代は終り、今は知識(元金)を貯えないと生活に支障をきたす時代です。かつて学習は道楽といわれました。今は生活するための必須条件となつていきます。そこで私たちにとって生涯学習は何かを考えて見ましょう。

自分を高め

連帯感をつくる学習を

今までの学習は、金や地位を得るための与えられた学習でありました。今からは精神的価値、生きがいを求めることが目的となってきました。それが最終的にはコミュニティの形成や連帯感につながります。教育、学習、勉強などという言葉は何ともおもしろくなく押しつけの感じを与えますが、自らが進んで楽しく学習する方法があるはずです。人間は学校の成績だけで評価できるものではないことは当然で、どんな人でも必ず人より優れた才能をもっております。この才能を

伸ばし多様性のある人間同志の連帯を図ることが地域社会の向上につながります。一口に学習といっても、いろんな方法や形があります。一人一芸や趣味から指導者へという発想が必要です。何もある有名な学者や先生を呼んで勉強するとか、お金をかけて視察するばかりが学習ではありません。身近なところに優れた指導者がたくさんおります。これからは情報化社会であるといわれます。対話は勉強です。まず何か経験したら「言って回る」ことです。人の悪口やうわさ話を

言って回るのは困りますが、良い事を伝えることは地域還元で立派なことです。地域にはいろんな職業、階層の人たちが生活しております。従来の社会教育は組織青年会、若妻会などを作って行政が補助金や指導を行って来ましたが、各階層ごとの活動で地域全体としての縦のつながりがどうしても薄くなりがちでした。

混住化が進むと同時に余暇の増大や高齢化社会の到来が予想されています。社会の変化に対応できなければ

自分の生活を楽しむために

まず、働く主婦の立場から、真中の川村由美子さん

(28歳)を訪ね、お話を聞きました。

ば人間として不幸なことです。社会の構成員としてみんなといっしょに生活できるようにすることも、生涯学習の大事な目的の一つですが、間口が広くて一口に説明することは困難です。で、実際、地域活動を行っている方々のご意見を伺って、まちの生涯学習のあり方をさぐってみたいと思います。



地域内のコミュニケーションを深めようと
公民館報や区報の発行がさかんだ



料理教室で料理の知識や技術を高めるのも生涯学習の一つだ（婦人文化教室のⅠコース）

——最近、生涯学習という言葉が聞きますが、仕事と主婦業、それに学習となるとなかなか大変でしょうね。

川村「私は勤めをしており社内ではいろんな人々の話を聞いたり、社内報の編集などもたずさわっているもので割合、みんながやっていることはわかります。人はだれでも人並みになりたいと願っていますが、それには経済面だけでなく、みんなの話についていけるだけの教養が必要です。まだ子供も小さいので家庭内での読書や子供といっしょにできる範囲です」

——趣味や特技を生かした学習は考えていますか。

川村「油絵を描くのが好きなんです。鑑賞するのも好きですが、子供が大きくなって手がからなくなったら好きな者同志で油絵を描いて行きたいと思っています」。

また冬場は家族でスキーをしたいと思っていますが、初心者なので指導を受

けてじょうずにになりたいと思っています」

——母親として子供の教育はどう思っていますか。

川村「つめ込み型の教育が問題となっていますが、教育体制なので急に変えることはできないでしょう。畑へ連れて行って野菜の



川村由美子さん

収穫や土をいじらせたりして土はきたないものだななどというまちがった考えをしないようにしています。若い時に資格を得るために上京、二年間生活しましたが、孤独と満員電車、コンクリートに、ほとほと参った経験から、自然の中のびの

社会に貢献できる老人に

高齢化社会の到来と言われ、県内でも高齢化比率のいちばん高い朝日町で、生

び暮すには、自分の生き方を持つ必要があると思います。都会に住んでいる人が立派で田舎に住んでいる人は劣っているということ、衣食住を見ても差がありません。子供にも郷土愛を持たせるような家庭教育をしていきたいと考えています。

——食生活についてはどうでしょうか。

川村「田舎で生活している人たちの特権はなんといっても自給自足の生活ができることですね。冷凍食品、加工食品が多いなかで、取りたての野菜を食べられることは幸せです。

手作りの料理を心がけていますが、子供にも少しづつわかってもらえると思います。忙しいときでも頑張っています」

生涯学習はどうあるべきかを、太郎の長岡平治さん（70歳）に伺いました。

——老人福祉は高齢化社会と密接な関係にあります



長岡 平治さん

が、物や金だけを与えるだけで老人は満足するでしょうか。

長岡「これからはだんだん老人の数が増える訳

ですから、社会も老人の力を借りないと出来ないことが出て来るでしょう。そのときに役に立つように健康でボケない老人であることが必要です。なにも力仕事をやる訳でないの、経験を生かし、手先を生かした仕事や、孫たちへの伝統を伝えることで貢献できると思います。物を頂くこともうれしいですが、世の中に認めてもら

ことが大事です」

——高齢者生産活動センターを通して生産活動を行っていますか……。

長岡「薬草部に入って週二回活動しています。薬草の手入れや、栽培方法、出荷、と仲間といっしょに働くことはたいへん楽しいし、健康に良いと思います。仕事が終わったあと温泉に入ってくつろぐ気分は最高ですなあ」



高齢者生産活動センターで薬草園の手入れに励む会員

——地区内では文化活動にも参加されているとのことですが。

長岡「太郎部落の愛好者で民謡を習っているのに参加しています。詩吟、御詠歌も習っています。私は声を出すのが好きで、気分がスカッとするものだから続

生産活動と 一体となった学習活動を

次に、果樹園を経営し剣道スポーツ少年団、大沼、大暮山地区の「谷間の会」の指導者である大暮山の阿部代志一さん(46歳)を訪ねお話を聞きました。

——これまで地域活動を長くされた訳ですが、生涯学習についてどう考えておられますか。

阿部「私は今、生涯学習という言葉聞いて、本業のほうで忙しく剣道を除いてはご無沙汰していましたことを反省しています。胸の中では活動する時期に来ているとは思っています。私たちが壮年層は経営者

けています。最近、足を悪くして週二回、通院していますが、体が悪いと自由に出来ないし、気も弱くなりがちです。そんなときは民謡を口ずさんだり、センターでみんなと語ったりして気分転換を図ることにしています。

として本業の学習はもちろんですが、農業という特異体質の仕事で飯を食べて行くには仲間の意識向上が必要であることを身に浸みて感じるようになったからです。

世の中は様変わりし回転の遅い農産物は流通という経路を通っただけでいかようにも変化する時代です。何が自分たちにとって有利なことなのかを今まで付き合ってきた仲間と呼びかけ行動を起して行きたいと思っています」

——大暮山という町の中で、きびしい条件の中で生

きてこられた訳ですが、後継者にも恵まれており、若者の数も他と比較して多い。これらを分析して部落の発展の鍵はなんでしょう。

阿部「先般の広報紙でも紹介されたように、春に結婚式が八組もあったが、大暮山は良い所だと村の人が胸を張って言えることだと思っています。それには各自の生活基盤と隣人との付き合いを良くすることでしょう



阿部代志一さん

う。スポーツを通じての交流をさらに発展させ、これからの大暮山をどうして行くかを部落全員で考えて行きたいですね」

——スポーツ少年団を指導されて、子供たちに対してどう感じておられますか。

阿部「身心をきたえることで立派な人間が育つ訳です

が、御存知のとおり目的は達成されていると思います。立派に育てた人間が町に残らないようでは、困るので、生産という尊い過程を学習させるため農作業な

地域の活性化は物心両面で

部落内の広報活動や野球チームを結成し、活力ある村づくりを行っている送橋の海野和博さん(36歳)に伺いました。

——毎月ユニークな広報を発行され、村の意識高揚に努力されていますが、生涯学習についてどう感じてもらえますか。

海野「村の中も混住化が進



海野 和博さん

んで協調が薄れていく傾向にあります。部落内の出来事や行事を理解してもらうために始めました。行事も

どを通した体験学習を実施して、人間の基本は、土、自然であるということを、子供たちに教えたいと思っています」

参加したというよりも参加させられた、という被害者意識が強くなっているのが喜んで参加してもらおうよう工夫することと、「さそう」という心がけが必要でしようね」

——送橋は地域の連帯はあるところですが、生涯学習、しいては地域づくりであるということについてはどうですか。

海野「そのとおりですね。嫁不足や過疎を売りものにしても、金が入って来る訳でもないし、まず地域の実態を良く見て地域に合った活動をみんなですることでしょうね。連帯感はあると思いますが、全般的におとなしいという気がします。競争力、闘争心という

ような面が欠けているので他流試合を積極的に行い自分たちのレベルを知ると同時に得意なものは何かを見

行政の課題

現実に行政機能には多くの教育的機能が存在しています。しかしパラバラな機能で行っているのが実情です。したがって一人の人間に名刺に書き入れられないような肩書きを与え、役職になると毎日のように、会議や講習会、人集めに走り回らなければなりません。また組織を作っ

て活動するため、職業の違いや年齢の違いなどにより意欲はあっても学習できないことがあります。専門学校の入学者が激増しているのを見て、もわかるように、成熟化社会に入り、住民の学習意欲は

つけていかなければなりません。そうすれば各種事業の受入れや、生産活動もうまくいくと思いますね」



OA時代に乗り遅れまいとパソコン講座なども開かれている

た生涯学習を各分野で行う必要があります。教育とか学習はハード事業と違って目に見えないものであり、一時代は政治的にも人気がない分野でした。教育と言えは立派な学校、何々研修センターを建てたりするのが主流でありました。利用、活用、運用を充分考えた上で物を作る時代です。「先建後考」の時代は終わったのです。

生涯学習を推進する過程で民間活力との提携が重要です。民間資金、ボランティア、情報提供などを積極的に受け入れ、行政の一人よがりにならないように協調していくことが大切です。

地域格差は経済中心で論じられてきましたが、経済成熟化に伴い、そこに住む人々の存在価値感によって左右される時代に入っているといわれます。地域の総合力は物心両面で証明されるということを、行政も町民も、もっと真剣に受けとめ対処していくことが必要ではないでしょうか。

農業団地センター建設 スタート

新農構事業

農協本所と併設

来年三月

完成の予定

朝日町農業振興の拠点となる農業団地センター・農協本所事務所建設(事業主体「農協」)の起工式が、去る八月二十五日に行われました。この日は、役場庁舎東側の建設予定地に、布施農協組合長をはじめ、若月収入役、白田農委会長、清野産業課長ら関係者がおおぜい出席。来年三月の無事竣工を祈願しました。

団地センターは、昭和五十七年から六十一年まで五カ年計画で進めている新農業構造改善事業の一環として建設されるもので、国の補助(団地センター建設費の五〇割、残は農協資本)を受けて実施されます。

この事業は、団地センターと農協本所を併設して建設されるもので、総工費は約四億二千万円。

リングをはじめとした町の主要作物の振興と、農業後継者の定着化、さらに、

農業後継者等が切磋琢磨する場としての機能を持たせたものです。

五百人が入れる
大ホール

建設面積は、団地センターが一、三二五平方メートル、農協本所が八六五平方メートル、延二、一九〇平方メートルで、鉄筋コンクリート造り一部二階建ての近代的な建物となります。

センター内には、次のような活動の場が設けられます。

- ▽一階
 - 。大ホール
 - 。後継者研修室
 - 。健康管理コーナー
 - 。土壌分析室
 - 。談話コーナー
 - 。土地対策室
- ▽二階
 - 。果樹流通情報センター
 - 。農村婦人研修室
 - 。農村文芸図書・資料展示室
 - 。情報資料室
 - 。生産技術指導・生産組

織活動室

。農業機械利用調整室
とくに、農業者の要望が強かった大ホールについては、映写設備や冷暖房も完備しており、利用度の高いものになるものと思われま

流通情報の収集

など幅広く活用

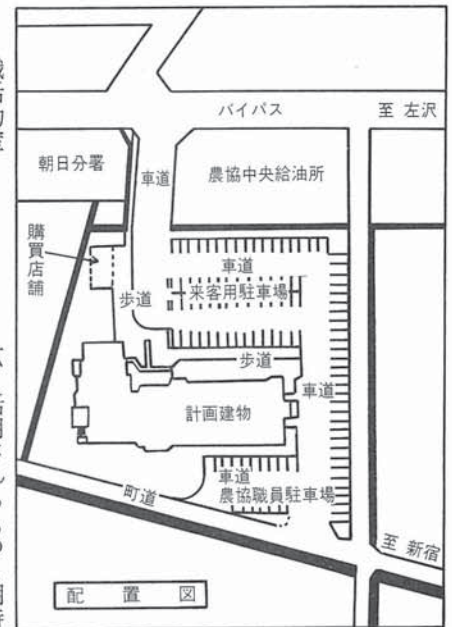
農業団地センターは、地域農業振興のための研究・討議の場、農産物の有利販売の情報収集、農村婦人の集会の場として、さらに各農業団体の総会や講演会の場としてなど、各層から幅

工事入札の結果

広く活用されるものと期待され、一日も早い完成が待たれるところです。

工事入札は八月十三日、中央公民館で厳粛ななかで行われ、次の業者に落札になりました。

- ▽建築工事(指名業者八社)
株式会社千歳組(山形市)
- ▽機械設備工事(指名業者六社)
野口工業株式会社(天童市)
- ▽電気設備工事(指名業者五社)
東北電化工業株式会社(山形市)



急ピッチで工事が進められている





町政誕生
30周年
記念事業

10月10日
町民駅伝を
盛り上げよう

▽趣旨 町誕生三十周年を記念し、スポーツの秋に町民が一堂に集い、駅伝競技を通じ地域づくりと住民ぐるみのスポーツ活動を高めるとともに、町民の連帯と親睦を図る。

▽主催 朝日町、朝日町教育委員会、朝日町連合青年団、朝日町体育協会、朝日町中央公民館

▽協力 朝日町区長会、朝日町婦人会、交通安全協会宮宿支部、西五百川支部、大谷支部

▽期日 十月十日(体育の日) 開会式八時、スター

ト九時

▽参加資格 朝日町内に在住し、チーム構成地域に居住する者

▽チーム構成 (宮宿)

(四ノ沢・沢内・水本)

(和合) (立木・太郎)

(常盤) (松程・今平・大舟木) (大沼・大暮山) (上郷) (玉ノ井)

(三申) (大谷)

▽区間及び選手配置

①中央公民館(中央公民館(宮宿地内・1.5K(壮年B) ②上郷小(3.3K(青年男) ③杉山(3.3K(青年男) ④大舟木公民館(2.2K(高校生) ⑤松程(3.3K(青年男) ⑥高齢者センター(3.2K(壮年A) ⑦立木バス停(2.0K(青年女) ⑧西部公民館(3.9K(青年男) ⑨西船渡バス停(2.0K(青年女) ⑩元能中(3.0K(青年男) ⑪石切場(3.5K(壮年A) ⑫北部公民館(1.2K(中学女) ⑬庄田魚店前(4.3K(青年男) ⑭和合警備所(2.5K(中学男) ⑮送橋集荷場(4.0K(高校生) ⑯中央公民館(4.8K(青年男) 計16区間、48KM

▽申込 申込用紙により、九月二十五日まで連合青年団内大会事務局へ

※なお、本大会は青年団が中心となって、各機関・団体の協力を得ながら実施されます。

町づくり提言を
募集

朝日町誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

。町づくりに望むこと
。朝日町の長所、短所
。ふるさとに思う私の夢
。こんな町をつくりたい
など今後の朝日町のす

がたや発展に関したものであれば何でもけっこうです。四百字詰原稿用紙五枚以内にまとめてください。

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

▽対象 朝日町に在住のかた

▽締切 昭和五十九年九月三十日

▽提出先朝日町教育委員会

▽審査及び表彰 小学生、中学生、高校生、一般の四部門に分け、それぞれ最優秀賞一点、優秀賞二点、佳作数点に賞状・賞品を差し上げます。

▽表彰式 十一月一日、朝日町誕生三十周年記念式典の折に行います。

※最優秀作四点は広報十一月号に掲載します。

明治・大正・昭和の古い写真をさがしています

町史編さんや町誕生三十周年記念写真展の資料にする、古い写真をさがしています。

明治、大正、昭和、各時代の人々の生活の様子、道

路や橋、建築物の写真などを所持のかたは、教育委員会までお知らせください。写真は複写をしてお返しします。

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

町政誕生三十周年を記念して、町づくりに関する提言を募集します。ふるって応募ください。▽テーマ「明日の朝日町を考える」

君がわかさ

西村 宗



お困りですか?

お聞かせください

10月14日〜20日 行政相談週間

軽に御相談ください。

▽とき 10月18日(木)

午前10時〜午後3時

▽ところ 中央公民館 会議室(二階)

※なお、相談は無料、秘密

は固く守ります。

十月十四日から二十日まで行政相談週間です。行政相談とは、わたしたちが毎日の生活の中で行政に対して持っている苦情や意見、要望などを聞き、その問題の解決と行政の改善に役立てていくものです。

わたしたちの町では、柿寿太さん(大谷一・雪8-2286)が総務庁長官から行政相談員として委嘱されています。

このたび、行政相談週間の一環として「特別相談所」を開設します。どうぞ御気



病院改築の今年度

請負業者決まる

町立病院の改築事業で今年度は給食・エネルギー棟の建設が進められますが、八月十七日工事請負について入札が行われ、さらに八月二十一日の臨時議会にかかれ、次のように決まりました。

▽本体工事Ⅱ朝日町建設共同企業体(八、八八〇万円)

▽設備工事Ⅱ黒澤建設工業株式会社・山形市(八、六九〇万円)

▽電気工事Ⅱ東北電気工事株式会社寒河江営業所(三、一六〇万円)

ぐうたら人生極意10カ条

東京連絡事務所だより No.27

先日、ある経済講演会に出席した際の話。「ガンとボケ老人のどちらを……」という何ともやり場のない寂しさを感じた一部を記してみたい。

「厚生省なんかはお医者さん、お医者さんと言うけれど、医学なんてこれ以上進めても何の役にも立たないと思っている。もうこれ

以上老化を止める方法がないんだから、あとは医学が進んだってあまり意味がない。今、ガンの治療に一生懸命だけれど、ガンも治してよいのか悪いかわからないですね。『ガンは治りました。でもみんなボケ老人になりました』では、ガンのほうがいいじゃないか、ということにならないでしょうか」

要約すれば以上のような話でした(一部)。みなさんはどうお感じになりますか。昨今、東京(関東地区)

で流行しはじめた健康産業の一つに、ラドンサウナセンタールというのがあります。設備として、ラドン温泉・超音波風呂ラドンサウナ・ニードルシャワー・温滝・水風呂とあり、朝十時から夜十時までの営業で、料金は約一、八〇〇円。土、日曜日の混雑ときたら想像外、何でだろうと思う。

ただ、人間の身勝手さとやっぱり幸せなんだなあと感じるなかで、不思議な現象を見出すことができる。上京した当時は、タマゴを思いっきり食べてみたいなあと思っていた。以来二十八年いまだどうか。何でも食べられ、その結果肥満体になり、それでやせるために高いお金を出して、シェーブアップだラドンサウナだと、何と馬鹿げたことなのだろう。お金を出して勝手に太り、お金を出してやせるという思いもよら



「税の話」⑤

パート主婦減税が 実施されます

●給与所得控除の最低控除額が57万円 となりました

この4月から実施されている本格的な所得税減税により、給与所得控除の最低控除額は、従来の50万円から55万円に引き上げられたところですが、その最低控除額をさらに2万円引き上げて57万円となりました。

●控除対象配偶者や扶養親族になれる には

給与収入金額の限度額が、それぞれ2万円引き上げられたことにより、その所得が給与所得だけの人の場合には、年間の給与収入金額が90万円（改正前88万円）以下であれば配偶者控除、扶養控除が受けられます。

●今回の減税はパート主婦だけが対象 ではありません

最低控除額2万円引き上げの効果は、当然のことながら、パート主婦に限らず、独身者など給与収入142万5,000円以下のすべての給与所得者に及ぶことになります。



ちょっと奥さん

通信販売のトラブルを 防ぐには

通信販売は、新聞、雑誌、テレビなどの広告やカタログで、いながらにして品選びができて便利ですが、その反面トラブルも多いので注意が必要です。

**取引条件を確かめて
注文する**

広告には、販売価格、送料負担の有無、代金の支払時期と方法、商品の引渡し時期、返品可否、申込期限、販売業者と住所などが明記されることになっています。取引条件をよく読み、

取引条件をよく読む！



さらに詳しいカタログや説明書を請求して、よく調べから注文しましょう。

電話での注文は、取引条件を確かめ、希望内容をはっきり伝え、業者にも復唱してもらいましょう。

- ないことが現実起きてい
ることをどう理解すればよ
いのだろうか。
- そこで「ぐうたら極意十
カ条」
- ① 週一回休日だけの運動で
は、スタミナ増強になら
ない。休日は熟睡して疲
労を取ろう。
 - ② 不眠は永眠の始まり。
 - ③ 私生活は臨機応変の不規
則な生活をしよう。
 - ④ 日本酒は一日三合、タバ
コは十本以下、コーヒー
の砂糖は少なめに。
 - ⑤ スポーツはライト感覚で
気ままにやる。「きつい」
と思ったらすぐやめる。
 - ⑥ 反社会的道楽に打ち込ん
でストレスを解消しよう
 - ⑦ 食後は「親が死んでも食
休み」横になると肝臓に
流れ込む血液の量が二〇
割アップして体によい。
 - ⑧ 何の（？）回数が減って
も気にしない。
 - ⑨ 朝の起床は、飛び起きな
いで、ぐずぐず時間をか
けて起きる。
 - ⑩ 夏、バテ防止に、より多く
の水を飲もう。



▲アベック 2人3脚。息が合えばバッチリ

もっち火然ち

レクリエーション大会に 1,500人

*応援団にはエリマキトカゲも

3年に一回の西部地区レクリエーション大会が、8月19日、青少年育成センターグラウンドで開かれました。

この日は、子どもからお年寄りまで約1,500人が参加。初秋を思わせるさわやかな風が吹き抜けるなか、赤・白・青・緑の4組に分かれ、30種目の競技が次々と進められました。

各陣地では、工夫をこらした衣裳で応援合戦が繰り広げられ、エリマキトカゲも登場するなど、なごやかな中にも熱気あふれる大会となりました。



▲運動会の花形リレーでデッドヒート



▲支度競走。お似合いですね



▲隣を気にしながら、ひたすら口に押し込む。(ピクニック)



青組（松程・大舟木・今平）



赤組（太郎・石須部・立木・白倉）

緑組（常盤地区）

白組（三中地区）

▲ 華やかに応援合戦



▼ 心ふれあう
じいちゃんばあちゃん
さがし



▲ 思うようにいかないリムころがし
（こんな遊びやったことないもんな）

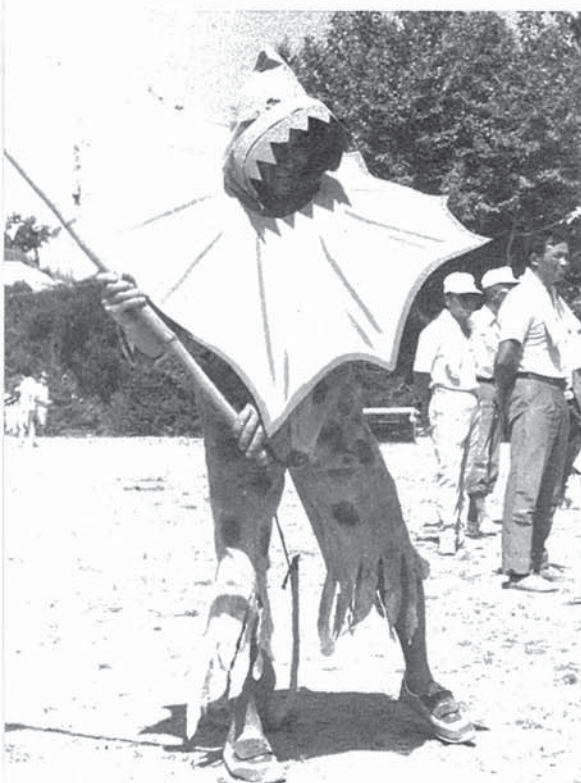


▲ ケツ圧はまだまだ健在

カメラあぐる

跳んだ

西部地区レクリエー



◀ いまの世の中のスーパーヒーロー、エリマキトカゲも登場



▲ バン食い競走は、要領の良し悪しできまる



異常気象と人間の生活

朝日町のききんの歴史から

この夏はカンカン照りの猛暑が一月もつづき、暑い、暑いという声が町に満ちあふれました。昭和三十一年にも真夏日が二十九日間つづき観測史上三番めの暑さといわれましたが、今年はそれをしのぐ記録的暑さになりました。過去二十五年以上に一回しか起きないくらいの気象のかたよりがあつた場合、その現象は異常気象と呼ばれています。

最高に暑い山形盆地

ちよつと意外な気もしましたが、昭和八年七月二十五日、山形で最高気温が摂氏四〇・八度まで上がりました。この日本一暑い記録はどの地方から、まだやぶられておりません。

このような暑さは、時には干害(日照り)となつて人びとの生活をおびやかしてきました。次に、朝日町の古文書などから日照りの記事を拾ってみました。

享保十四年(一七二九)六月(旧暦、以下同じ)大日照り、七月、小寺山に雨

ごいに行く。その時少し雨降る。

寛延元年(一七四八)大日照り、大根・米値上がり。

明和七年(一七七〇)五月より八月まで雨降らず。

翌年も大日照り、八ッ沼村では日に五十人あて三日間沼掘り工事をした。

弘化元年(一八四四)大千ばつ、四十七日雨降らず。

嘉永六年(一八五三・ペルリ来航の年)出水止まり

飲み水もことかく。

明治十九年(一八八六)大千ばつ。

昭和二十六年(一九五二)

飢饉(ききん)の歴史

宮沢賢治の詩に「雨ニモマケズ……雨ノ日ニハオロオロ歩キ……」とあるように、東北地方は冷害になりやすい環境にあつて、作物の実らない年の農民の苦しみはなみだいていではありませんでした。

昔は、大ききんともなれば多くの人がとが飢えて死んでいきました。

宝永二年(一七〇五)大がし(ききん)ささ麦取りに長根山へ二百人くり出す。

宝暦五年(一七五五)大がし、稲から立ち(不稔)田植前大日照り、五月十一

日より八月十五日まで雨降りつづく。八月十八日に強い霜。松皮・くぞの根・わら

び根を取って食べる。太郎村で六十人飢え死にした。

天明三年(一七八三)大がし、米一石につき二兩に値上がり。

天保四年(一八三三)大凶作、米の値上がり三倍にも。

また天保十年の「出奔人奉

全国的な干害、七一八月。

「書上覚」には、四ノ沢と宮宿から家十八軒六十九人がききんのため家出した、と書いてありますが、ききんが何年にもわたつたこと、そのすさまじさを物語っています。また、大沼部落の言い伝えですが、「とうとう食べるものが何もなく泣いてしまひ、母と子どもたちが泣きじゃくっていた所へ、父が、大谷からコヌカを一俵買つてせおつて来た！」



日照りで用水も底をついたため池(和合平)



今年の夏はかんばつで水田も地割れを起こした上郷地区

その時のうれしかったこと」

これもききんの時の話、「わらをききんでもちにしておいた。いよいよなくなると田んぼの土をダンゴにして食べたそう」上郷方面松林は、食用にと皮をはがされて、ほとんど枯れてしまった」といいます。

ちょうど五十年前になりますが、昭和九年に起った凶作は最も記憶に新しいところでしょう。朝日町の高

い所では稲のまったく実らないところもあったし、低い所でも、しづ(いもち病)

が原因で一〇アール当たり八俵とれる水田も半作以下というありさまでした。学童はべんとうを持たずに学校へ通ったそうです。役場からさつまいものくずが配給になり、台南米というポロポロの米も食べました。凶作の苦い体験から、稲の品種改良や栽培技術の向

上にみんなの関心があつまるところになりました。各地に郷倉(ごうぐら)もみ貯蔵所)が出来たのはそれから数年後でした。

氷河時代は来るか

空气中に、火山灰とか公害によるチリが多く含むようになると寒冷化が進み、公害のうち、炭酸ガスの濃

度が高くなれば温室効果によって、人類が生きていけないほどの焦熱地獄が出現するといわれています。いずれにせよ、人間の吐き出した公害は異常気象に拍車をかけている、だから近ごろは気候までが狂っているのだという説がもっぱら有力のようです。

朝日町に人間が住むようになったのは、約二万年前の氷河時代からだといわれています。旧石器時代のこと

食糧危機を考える

いま、アフリカはひどい干ばつにおそわれ、たくさんの人びとが飢えに苦しんでいます。ソ連では、寒冷化によって耕地が少なくなり、アメリカから大量の小麦を買い付けています。わ

が国に至っては、食糧の八割(飼料を含め)を外国にたよらなければならぬのです。でも、もし何かが起こって、その輸入がまったくなくなるようなことにでもなったら、大変です。三千万人の人が、たちどころに餓

る大隅遺跡にいた人びとは、今よりも平気な気温が摂氏七・八度も低い寒い時代に、石のナイフをふるって獣を追いかけて、魚を取るなどして生活をしていました。当時は夏に雪が降るのも珍しくない気候でした。そもそも、人類三百万年の歴史のうち、温暖期と呼ばれる期間はせいぜい一〇パーセントぐらいなもので、多くは、人間にとって、幸せうすい異常気象だったのです。

(文/沼向・菅井 進)



各種大会などの
入賞者

▽県選抜学童水泳記録会

(8/19・天童市民プール) 第四位 大谷小六年・渡辺千恵子 (百メートル平泳ぎ・一分三九秒五九)

▽子ども県展

奨励賞 大谷小五年・小野智恵子

▽県民スポーツ大会壮年ソ

フトボール町予選会 (8/27) 30・朝日中グ

라운드)

。Aブロック決勝

栄町4-4四ノ沢

(トスで栄町の勝)

。Bブロック決勝

末吉良17-9大町

。Cブロック決勝

八ッ沼7-7和合

(トスで八ッ沼の勝)

栄町、末吉良、八ッ沼

の三チームは九月二十三

日の県民スポーツ大会西

村山大会に出場します。

朝日中
東北剣道大会で
第3位



入賞を果たした喜びの朝日中剣道部員

この広場は、町内の話題や皆さんの声でつくるページです。どしどしお寄せください。

去る八月十日、仙台市で

開かれた第八回東北中学校

剣道大会に朝日中学校から

男女チームが参加し、男子

団体が第三位、女子個人で

も第三位という輝かしい成

績を収めました。

男子チームは準決勝で、

青森県田名部中と対戦、三

対二ともう一步のところで

惜敗しました。

女子は予戦トーナメント

で、鳴子中と対戦し、二対

二、一引分けとなりました

が、一本の差で負けこれま

た惜しい試合でした。

なお、田名部中男子と鳴

子中女子はそれぞれ本大会

で優勝しています。

厳しい練習はもちろん遠

征試合など数多く経験して

いるとのことだ。

●入賞者の顔ぶれ

男子団体第三位 渡辺弘

司、白田勇治、渡辺康彦、

遠藤秀彦、白田稔、(補欠

・柴田仁、長岡泰)

女子個人第三位 長岡さ

よ子

みには
保健婦さ

健康づくり

食生活

食欲の秋、スポーツの秋
がやってきました。楽しい
芋煮会や運動会が盛りだく
さんに計画されていること
でしょう。九月は健康増進
普及月間にもなっています。
日ごろの運動不足を解
消して家族みんなで健康づ
くりを考えてみましょう。

そこで家庭を守る主婦の
健康づくりについて述べて
みます。

現代の主婦のすが貧血の
傾向にあるといわれています。
また、便秘、肥満に悩ん
でいる主婦も少なくありま
せん。食生活で貧血・肥満
・便秘を予防しましょう。

■主婦の食生活の心がけ

。欠食は貧血の大敵
。三度の食事は欠かさずに
。六つの基礎食品を組み合
わせて、栄養のバランス
のとれた食事を

。インスタント食品や加工
食品などのかたよりに注
意

。胃腸を丈夫に

。魚・肉・卵・レバーなど
の動物性たん白質はたっ
ぷりと

。ほうれん草・かぼちゃ・
にんじんなどの緑黄色野
菜を毎日欠かさずに

。ごはんなど主食類は過食
しないように

。新鮮な野菜、海藻を十分
に

。味付は薄味に

。砂糖、菓子など甘いもの
は、できるだけ控えめに

以上

の事に注意して、健

康づくりに努めましょう。



今日の顔

わが町で初の甲子園出場者



宿 若月 亨さん

中学二年の時からセンタ―を守り、その年、郡で優勝した。「中学時代の厳しい練習と精神面での指導がいま役に立っています」。

野球のおもしろさは「一球一球のかけひき」という。山南との初戦で1対7で敗退した。「相手の投球パターンを読めず3打数3三振に終わってしまった。チーム全体でもたったの4安打、ミスも多かった。日ごろのチームの力を半分も出せずに負けてしまい、ほんとうにぐちゃぐちゃだった」。



なごやかな中にも白熱した試合の連続

今年の高校野球県大会を見ていて気づいたかたもあろうが、日大山形高校の試合で、プラスバンドの曲が急に変わる時がある。「燃えよ闘魂」のメロディーが流れてくると「九番センチ若月」の出番。チームの

中でいちばん合っている、とプラスバンドが付けたとれた彼のテーマ曲なのである。県大会でトータル打率が21打数10安打で4割7分6厘とチーム二位の高打率をマークし、全国大会では七

番に上げられた。

しかし、甲子園では、岡

ミニバスケットボールからチーム招きアップル交歓大会

9月2日、町民体育館でミニバスケットボールの交歓大会が行われました。これは、和合と宮宿のミニバスケット少年団が、山形市から、おもだか少年団とみづばち少年団を招き開かれたもの。

大会の名まえもわが町にふさわしくアップル交歓大会。和合、宮宿のチームが山形の両チームとそれぞれ対戦。和合は男子が1勝1敗、女子が2勝、宮宿は男子が1勝1敗、女子は0勝という成績でしたが、和合・宮宿両少年団共、年々力をつけており、今後の活躍が期待されます。



年々力をつけているミニバスケット少年団（宮宿対おもだか戦）

熟年パワー爆発

* 第三回高齢者ゲートボール大会

第三回を迎えた高齢者ゲートボール大会が、去る八月三十日、緑が丘公園でにぎやかに開催されました。お年寄りのゲートボール熱は年々高まっており、今回は三十一チームが参加、お互いに熟年パワーを爆発させました。

この日のために、各チーム共練習を相当積んできており、設定された四コートでは白熱した試合が続きました。しかし、トーナメント戦ということで、一試合負ければあと終わりーではあつけない、競技したかいない、という声も聞かれました。

- 成績 ①水本②西町A ③松程A ④松程B ⑤川通 ⑥大谷A

なこととす。さらにわたしたちは、お年寄りの豊富な経験と知恵を地域の活動に生かしていくことを考えるのめたいせつなこととす。そしてお年寄り自らも、ボケることのないよう、頭と体を適度に使う習慣を身につけたいものです。

りんごのなまり

笹井 春 美

《東京都江東区亀戸2-6-7-808》



*プロフィール

- 昭和27年3月/宿生まれ
- 昭和45年3月/朝日分校卒業
- 昭和47年3月/山形保育専門学校卒業、4月東京安房児童学園に就職
- 昭和56年4月/劇団「ともしび」に入団

今年の夏は暑い日が続きましたが農作物への害はとうだったのでしょうか。りんご畑で育った私は、台風が山形方面へ向って行くのとて心配になります。私の小さかったころ、両親が台風のまった中をりんごの木や実を安じて山へ登って行く姿や、台風が去って行った後、木の下に売り物にならなくなったりんごの山を見ているからです。

私は朝日分校を卒業後、山形市内の学校へ二年通い保母資格を取り上京して早いもので十二年間も東京での生活を楽しんでいます。子どもは小四(女)、小一(男)と四人家族です。東京ではりんごなどもかなり安く売られています、私は子どもが病気をしたとき

以外はりんごを買いません。でも朝日町と書いてあるりんごの箱を見かけると、すぐその店で高い値でも買ってしまします。りんごを買うというより、ふるさとを買っているようなものですね。

話は変わりますが、上京して九年間は保育園での仕事に励みましたが、長女が学校に入ると同時にオペレッタ劇団に転職しました。(今思うと学生のころに役者にあこがれていた様子)民話や歌とお芝居で作られたものでオペレッタといえます。このオペレッタを全国の小・中学校の子どもたちに見てもらい、見た子どもたちは心身共に元気になってほしいという思いをこめて巡回公演している、とても生きがいの感じられる仕事なのですが、たった一つつらいと思うことに時々ぶつかります。それは台本のセリフのアクセントやイントネーションをなかなか覚えられないことです。保母のときには全国のなまり



*新刊あんない

▷発想力を伸ばす(E・ロードセップ)▷幕末武家奇談(稲垣史生)▷対話なき管理社会(水沢透)▷高校生の午後一ある受験生の旅立ち(今崎曉巳)▷学校の再生(村山士郎)▷いま夫婦って何だろう(鍛治良堅、千鶴子)▷日本人の福祉ミヤわら

かい心を求めて(若城希伊子)▷子どもの能力のを見つけ方(平井信義)▷登校拒否のカルテ(高橋良臣)▷とまどい(和田佳代子)▷ぼくのこときいてよ子どもの心に出会うために(緑川尚夫)▷ほめて育てる一ひのびのびしたしつけの復権(久世妙子)▷老人のケア(竹内孝仁)▷性なき巡礼(インドの半陰陽社会を探る(大谷幸三)▷和食革命(永山久夫)

*西郡の市外局番が統一

これまで強く要望されていた3分10円で通話ができる西村山1市4町の市外局番の統一について現在工事が進められていま

す。

市外局番は0237と統一され、市内局番は現在の市外局番の末尾の数字が市内局番へ移動する形となります。

朝日町の場合

0237(7)0000

0237(8)0000

なお、1市4町相互間の通話は、市外局番なしですべてつながることになります。

サービス開始は来年3月に予定しており、各種印刷物などの電話番号には十分注意されるよう御配慮ねがいます。

40歳からの健康週間
10月10日～16日

昭和59年場所 長寿番付表 (59.9.1 現在)

東												西																
横網	張	大	張	関	小	志	遠	結	堀	安	鈴	張	大	関	張	若	小	今	阿	横網	張	大	関	張	若	小	今	阿
村	川	野	柴	田	月	藤	藤	部	藤	木	木	山	村	野	村	田	木	野	部	村	川	野	柴	田	月	木	野	部
はつゑ	きよの	てる	み	さ	市	い	も	と	わ	み	よ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ
(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(本町)	(本町)	(本町)	(能中)	(杉山)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	
96	94	93	93	93	92	92	92	92	92	93	93	96	94	93	93	93	92	92	92	96	94	93	93	93	92	92	92	92
前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白
川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田
金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎
(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	
91	91	91	91	91	90	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	90	
前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大
柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田
安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜
蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ
(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	
90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	89	
前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長
柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡
な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	な
(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	
88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	

祝 長 寿	横網	張	大	張	関	小	志	遠	結	堀	安	鈴	張	大	関	張	若	小	今	阿	横網	張	大	関	張	若	小	今	阿
	村	川	野	柴	田	月	藤	藤	部	藤	木	木	山	村	野	村	田	木	野	部	村	川	野	柴	田	月	木	野	部
	はつゑ	きよの	てる	み	さ	市	い	も	と	わ	み	よ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ
	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(本町)	(本町)	(本町)	(能中)	(杉山)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	
	96	94	93	93	93	92	92	92	92	92	93	93	96	94	93	93	93	92	92	92	96	94	93	93	93	92	92	92	92
	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白
	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田
	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎
	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	
	91	91	91	91	91	90	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	90	90
前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	
柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	
安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	
蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	
(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)		
90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	89	89	
前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	
柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	
な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	な	
(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)		
88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	

勸 進 元 朝 日 町	横網	張	大	張	関	小	志	遠	結	堀	安	鈴	張	大	関	張	若	小	今	阿	横網	張	大	関	張	若	小	今	阿
	村	川	野	柴	田	月	藤	藤	部	藤	木	木	山	村	野	村	田	木	野	部	村	川	野	柴	田	月	木	野	部
	はつゑ	きよの	てる	み	さ	市	い	も	と	わ	み	よ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ	きよの	てる	きよの	み	さ	市	わ	はつゑ
	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(本町)	(本町)	(本町)	(能中)	(杉山)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	(古横)	(大滝)	(夏草)	(元町)	(常盤)	(宇津野)	(大谷二)	
	96	94	93	93	93	92	92	92	92	92	93	93	96	94	93	93	93	92	92	92	96	94	93	93	93	92	92	92	92
	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白	芦	安	鈴	柴	武	阿	遠	前頭	白
	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田	野	達	木	田	部	部	藤	川	田
	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎	ミサ	き	重	とみ	はつゑ	く	ま	金次郎	忠太郎
	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	(大暮山)	(明鏡荘)	(榮町)	(常盤)	(西町)	(宇津野)	(栗木沢)	(栗木沢)	(大暮山)	
	91	91	91	91	91	90	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	91	91	91	91	91	91	90	90	90	90	90
前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	鈴	鈴	阿	後	遠	白	佐	前頭	大	
柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	滝	木	木	部	藤	田	藤	柴	田	
安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	忠	み	オ	た	ま	お	う	安	喜	
蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	太郎	太郎	ミナ	つよ	ん	う	ら	蔵	せ	
(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)	(下芦沢)	(西町)	(明鏡荘)	(大滝)	(栗木沢)	(大谷六)	(明鏡荘)	(明鏡荘)	(西町)		
90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	90	90	89	89	89	89	89	89	89	89	89	
前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	鈴	清	菊	前頭	小	阿	安	長	
柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	木	野	地	柴	林	部	藤	岡	
な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	は	き	ゆ	な	な	安	よ	な	な	
(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)	(松原)	(前田沢)	(古横)	(大谷六)	(大滝)	(大沼)	(元町)	(松原)		
88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	

へるの便り

▶ 33 ◀

のあつまりで語り合えたのがこの職業では通じなく、日常でも山形のなまりがでると笑われてしまい、なぜか山形弁が馬鹿にされたような錯覚におちいる時もあり、くやしさに涙する事もありました。でも私は、今でも朝日町の生まれ育った土地のことを忘れたくない

いと思っています。
今度、十月五日に私の劇団「ともしび」が朝日中学校で公演させていただきますことになりました。作品は「金剛山のトラたいじ」という韓国の民話をもとにしたオペレッタです。ぜひ御覧になっていただきたいと思ひます。

大谷小学校が
水泳で全国表彰

大谷小学校がこのほど日本水泳連盟から水泳優秀校として表彰を受けました。

表彰されたのは全国で41校。いずれも、学校の代表である選手だけではなく、1年生から6年生までみんなが水に親しみ、みんながよく泳ぎ、全体としてレベルの高い学校が選ばれています。

大谷小では、「これからも今回の表彰を誇りとしながら、水泳を通して心身共に健全でたくましい人間づくりに努めていきたい」と語っています。



ガーナの独立広場。4月の第一日曜日には、式典やパレードが行われる。
20数年前新生ガーナ共和国建設をめざし、希望と夢があった広場だと思ふ。

青年海外協力隊員体験記

ガーナ紀行

最終回

西町 佐藤

勉

途上国とは (二)

なぜガーナは途上国なのだろうか。まず第一に考えられることは、国の基盤が出来ていない。国民が生きてゆくのに必要な食糧が十分でなく、ガーナ人は、いつも空腹(食糧)に飢えている。「腹がへっては戦はできぬ」のたとえどおりこれでは、満足な仕事、労働ができるはずがない。

次に、国のリーダー、指導者がいない。あいつぐクーデターや、政変で、国民は、ガーナ国に失望し、し

らけ、あきらめ、自分たちの国という愛国心をのぞむすべもない。国を発展させるには外貨取得が必要条件であるが、ガーナの場合、ココアや木材などの第一次産業にたよ

っているため、天候や、相場に左右され、外貨の安定収入がない。

国民の統一がなっていない。ガーナには、たくさんの部族があり、各部族によって言葉や、生活風習がまったく相違し、今なお部族間の争いがある。

最近のガーナ

ガーナから届く便りによると、今年は、雨に恵まれたのでガーナ人の主食であるトウキビは豊作とのこと。また、となりの国との国境も開かれ、物資も潤されている様子。しかしいぜんとして、インフレは天井知らず。夜間外出禁止令は解除になっていないし、電力も一日三時間だけの生活らしい。

下を見ればきりがながい物資があるだけ、最近、マスコミをにぎわしている。東アフリカ諸国より、ガーナは恵まれていると思う。

さらばガーナ
今年、三月二十五日、私

は二年間の任期を終え、ガーナの空港にいた。自分がこの二年間にお世話になったかたがたの見送りをうけた。

訓練局長の顔、昨年来日したノーガンの顔、となりの養鶏場のおやじの顔……

二年間、ガーナで自分は何をやったのだろうか。自分が来たことで、何かガーナ人にとってプラスになっただろうか。

ガーナでの生活は、またたくまに過ぎ去った。そして自分に耐えることを教えてくれた。バイクにガソリンをつめるのに炎天下、四〇五時間待ち、バスに乗るのにも五〇六時間待ち……思い出はつきない。

名も知らぬガーナで、無事に生活できたのは、ガーナ人の協力があったからこそ。彼らの少ない食糧を、私にわけてくれたり、何事も、私たちを優先させてくれたり……生活は厳しくとも、希望を持って生きてほしい。ありがとう、ガーナ

人。
任期中、御支援いただいたかたがたに御礼申し上げます。ありがとうございました。

ガーナのおい
ガーナのおい。それは生活のおい。朝夕のすみ、まきのけむりのおい。家畜のフンのおい。パイヤ、マンゴのおい。

ガーナの色
それは生命の色
黒いはだ、すんだ黒い瞳
すみきった青空
天高い、やしのみどり
美しい原色の花の色

それは自然の音
野鳥の鳴き声
はげしくトタンを打つ
スコールと雷の音
どこからともなくきこえてくる、タイコの音。

人。
任期中、御支援いただいたかたがたに御礼申し上げます。ありがとうございました。

拾ったお話

母親は母のよう

父親は父のよう

大谷小学校の授業参観の折に開かれた講演を聴いてとくに印象に残った点について拾ってみました。

「青少年の行動の特性と健全育成の方途」と題した寒河江警察署補導官の石沢絃子先生のお話です。

家庭には大黒柱は一本でよい。かかあ天下の家庭に非行少年が育ちやすい。これは私にとって、たいへん耳の痛い言葉でした。しつけの面でも、家族がバラバラだと一貫せず、子どもはだれのいうことをきいていいのかわからず迷ってしまう。家族話し合いのもので一貫したしつけをすることが大事だそうです。

くさかんむりに母と書いて母。――母は春一番に出来る果物で、小さいけれども甘酸っぱく、いくらでも食べられてしまう。母親は母のように。いつでも子ども

もの精神的な欲求を満たしてやれる心やさしい母親でいるように……。

くさかんむりに父と書いて父。――父灸といって、小さくまるめて体の痛いところに灸をすえると、一回できいてしまう。父親は父のように。子どもが悪いことをしたりした時に、二度と同じくあやまちを繰り返さないようにピシッとお灸をすえられるような、強くてたくましい存在であることを子どもに教えることが大事です。

先生の「母親は母のよう」に、父親は父のよう。この二つの言葉がとても印象的でした。すこやかでたくましい子どもを育てるには、親が背筋をしゃんと伸ばして、堂々とした生き方をしなくては、と改めて考えさせられた講演でした。

(広報委員・白田妙子)

古道を
たずぬて ⑤

西は夕やけ東はこやけ
君を松保のいろは坂

右は大沼・左は大谷

いつまた会えるか別れ松

いろは坂は、大暮山―大江町松保―小清間にある峠道である。炎暑のお盆のある日、大暮山の海野昭二区長さんと阿部三之丞さんの道案内で、四輪駆動車に乗って松保に出かけた。

松保から数分上れば標高四六〇呎のいろは坂である。この地名は、四十八曲りのカーブから出たという。松保はかつて四戸の農家があり、戦後は開拓団十二戸が入植したが、現在は佐竹哲家一戸だけとなった。



いろは坂で見つけた道しるべ

いろは坂は三山参りの道者の道であった。頂上別れの松―目通り二・八五呎の下に落葉に埋もれた道しるべ二基を発見した。

右 大沼山
左 大谷村

小清村 佐竹六左門

□ 山道

□ 湯殿さん

小清村 佐竹氏

佐竹六左門は、大江町小清の旧家であり、大地主で

いろは坂

大暮山
―大江町小清

あった。秋田藩佐竹侯二十万五千石の家臣であったと伝えられるが、確証はない。いろは坂は、また、生活道

であり経済道でもあった。江戸時代から、うるし、青苧、まゆを小清に下し、上り荷として、塩、雑貨等を運んだという。また、この峠は花嫁の道でもあった。

小清、貫見方面から五百川地方に多くの花嫁がこの峠を越えて輿入れしたのである。松保近くに、有名な「松保の大杉」がある。昭和二十八年八月、県指定天然記念物になっている。根回り一四・七呎、目通り一〇・六呎、高さ二六呎、樹令は二千年前後と推定される。峠から南、約四百呎の山上、松林の中に有名な小清の虚空蔵尊と金華山が祭られている。

佐竹哲家は、秋山を下りて、本郷の山崎団地で冬を越し、春五月、松保に上って来る。後継者幸雄君は、篤農の士である。春の山菜、米、もも、りんご、養蚕(年三回)と多角経営をやっている。末頼もしい農業青年である。

(文/広報委員・長岡幸助)





☆長岡真奈美さん(太郎三)

町民憲章と私

健康に
つとめます

今年の春にめでたく成人式を迎え、大人の世界に羽ばたいた彼女。

この夏の休みの日には海やプールに出かけ、まっ黒になりました。勤め先もびったりのスポーツ館寒河江なのです。「健康は無理をしないでゆっくりと睡眠をとって、おもしろい運動することが一番ではないでしょうか」

趣味は小さなおもちゃのバトカー集め。彼女のハートを射止めるには、おもちゃのプレゼントがよろしいようです。食欲の秋がちょっと心配な健康ギャルです。

(広報委員・長岡裕二)



59年8月1日～8日31日届出

*出生

区名 出生者氏名父名 続柄
立木 阿部奈津美政良 長女
古楨 清野 彰 直治 二女
平 佐藤瑞歩 幸作 三女

*死亡

区名 死亡者氏名年齢世帯主
松 程 阿部 兵松93 政之助
古楨 阿部とみあ88 秀夫

西舟渡 鈴木正彦 正志 長男
太郎一 長岡哲朗 茂 二男
前田沢 鈴木翔士 修 二男
中沢 堀 美貴子勇六 三女
大暮山 阿部雄二 孝 二男
大谷二 大谷寛貴 良勝 長男
夏草 阿部真司 武司 長男
夏草 海野裕明 和義 長男
西町 佐藤裕美 五郎 長女
本町 鈴木亮介 兼光 長男

*結婚

舟渡 寒河江市
五十嵐忠一 ♥ 後藤 礼子

能中 伊藤 せつ子 益雄
常盤 長岡ふみの 誠一
能中 志藤 いち 國治
元町 鈴木 高治 80 高雄
西町 高橋健太郎 77 久
新宿 今井まさよ 76 正仁
本町 鈴木せめよ 91 彦治
大谷二 白田とめ代 74 甲子郎

図書基金など

温かい善意

このほど次のかたがたから、温かい善意が寄せられました。

▽朝日ビニール工場(遠藤俊晴社長) 〓北部地区高齢者ゲートボール大会にトロフィー三個

▽兼子成一さん(左沢) 〓宮小運動会優勝カップ(四万六千円)

▽小関長寿(西船渡) 〓西小へ交通安全旗三十本

▽佐野力さん(大町)、渡辺淳さん(送橋)、清野正男さん



秋の交通安全運動

9月21日～30日

- 九月二十一日(金)から三十日(日)までの十日間、「安全は一人ひとりの心がけ」をスローガンに、秋の交通安全県民運動が行われます。
- 運動の重点は
- ①歩行者及び自転車利用者の交通事故防止
 - ②二輪車の交通事故防止
 - ③シートベルト着用の推進

編集室から

広報九月号をお届けします。今月は、生涯学習についてみんな考えてみました。世界一の長寿を誇るわが国ですが、生涯を通して健康で生き生きとした暮らしができるように、みんなで努めていきたいものです。

さて、本格的な秋の到来です。読書に、スポーツに、趣味に打ち込む最良の季節です。この際一人一芸、一スポーツを身につけてみませんか。



ことしの夏は、連日三〇度を超す真夏日が約一カ月も続いた。六年振り、または七年振りの猛暑といわれた。

八月お盆は、例によって民族の大移動。車、汽車、飛行機に乗ってふるさとへ、おふくろのもとへと――朝日町の人口も一万四、五千人に膨張したことだろう。激流の銭下り、溪流まつり、ダム祭り、風祭り等々、ふるさとの再認識、ひとびとの心のふれ合い。たいへんけつこうなことであった。それにしてもお母さんがたやお嫁さんがたの炊事万端のお世話。ただただ感謝のほかはない。水と緑とすみきった空気、満天に輝く星空―帰省客は、一斉にふるさとを賛美する。それにもまして、帰省した子どもたちの目にふれた、せせらぎに躍る銀鱈、せみ、バッタ、かぶと虫等との出会い。何にもかえ難い自然学習であり、ふるさと発見だったろう。

(幸月記)